教科　国語　　科目　現代の国語(令和８年度)

授業科目	現代の国語	単位数	２単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校1年	コース	ICT科・普通科		
教科書	新編現代の国語 改訂版(大修館)	副教材	学習ノート、高校生の語彙と漢字		
授業概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容および到達目標	1学期	1 ことばをひらく	「春」について筆者の考えを読み取る。高校生活で取り組みたいことについて、自分の考えを深めたり、広げたりする。	・この春、なにを始めよう ・コミュニケーションは技術だ」
		2 日本語を使いこなす	場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。	・正しく書こう ・文を整え、文をつなぐ
		3 分かりやすく説明する	説明の仕方に注意して文章構成や内容をつかむ。 相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。 接続表現に気をつけて読み、説明のしかたをとらえる。問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。	・人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか ・ナンバーワンか、オンリーワンか ・生きることと食べることの意味 ・絵や写真を説明しよう
	2学期	4 聞く力・話す力を育む	大切なことを落とさずに、正確に聞く。 自分にとって必要な情報を意識して、メモを取りながら聞く。 傾聴の方法を知り、話し手が話しやすいように意識しながら聞く。	・聞き取りのレッスン ・聞き上手になろう ・ショートスピーチをしよう
		5 論理を読み取る	対比関係を意識し、違いを明確にしながら読む。 具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読み、筆者の主張を読み取る。	・商品と贈り物の違い ・水の東西 ・人間とAI—想像力の源泉
		6 伝え合いのレッスン	相手や場面に配慮した表現のしかたや言葉以外の要素の大切さを知り、目的に応じた工夫をする。 さまざまな方法を用いて、アイディアを広げたり整理したりする。	・対話のレッスン ・話し合って結論を出そう
		漢字検定	漢字検定を目標に模擬問題に取り組む。	漢字検定
		7 説得力を高める	意見と理由を備え、反対意見をふまえた説得力のある意見文を書く。	・つなぎ型しだい ・意見文の基礎を学ぼう
	3学期	8 情報と向き合う	視点や根拠に注意して情報を吟味するとともに、図表などから必要な情報を読み取る。 適切な方法で集めた情報を根拠として、説得力のあるレポートをまとめる。	・情報の力関係 ・どこもかしこもプラスチック！ ・レポートを書こう
		9 他者を動かす	企画書に必要な要素を知り、見やすく、分かりやすい企画書をまとめる。 聞き手の心を動かし、目的を達成するために、構成や発表のしかたを工夫する。	・魅力的な企画書を書こう ・プレゼンテーションをしよう
		10 社会に目を向けて	文章の構成のしかたや具体例の役割に注意しながら、筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見をもつ。 筆者の主張をふまえて、自分の考えを深める。	・何のために「働く」のか ・自分の考えをつくるために

教科　国語　　科目　言語文化

授業科目	言語文化	単位数	２単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	高校１年	コース	ICT科・普通科		
教科書	新編現代の国語（大修館）	副教材	学習課題ノート		
授業概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容 および 到達目標	1学期	ことばと出会う	言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。	・言葉の森を育てよう ・言葉と愛
		表現を味わう	文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。	・水かまきり ・とんかつ
		文化を見つめる	日本のデザインに見られる独特の感性について筆者の主張を読み取る。	・漢字と仮名の使い分け ・アナログ的な日本の四季 ・一瞬の風になれ ・光のうつしえ
		物語を受け継ぐ	小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。	・羅生門
	2学期	ことばと多様性	叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。	・祖母が笑うということ ・ことばは光
		古典に親しむ	古文を読む意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。また、音読を繰り返すことで古文に慣れ、古文と現代文の違いを理解し、基礎を身につける。	・古典の世界を楽しもう ・いろは歌 ・児のそら寝 ・十二の「子」文字
		随筆を楽しむ	随筆の文章表現の特色について理解する。また、両作品を通して自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。	・徒然草 ・枕草子
		物語の広がり	物語を読み、そこに描かれた心情や人物像を読み取る。	・伊勢物語 ・平家物語
		旅への思い	さまざまな旅を描いた作品を読み、古人の旅の思いを想像する。	・土佐日記 ・更級日記 ・おくのほそ道
	3学期	漢文に親しむ	漢文の訓読のきまりについて理解する。	・漢文入門 ・訓読のきまり ・格言 ・再読文字
		現代に生きることば	故事成語について知り、その背景となるエピソードに触れる。	・守株 ・五十歩百歩 ・蛇足
		古人に学ぶ	『論語』を読み、孔子の思想やその影響について考える。	・論語
		漢文を楽しむ	さばざまなジャンルの漢文を読み、漢文を楽しむ。	・完璧 ・鶏鳴狗盗

教　科　　社会　　科　目　地理

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">地理総合</td><td>単位数</td><td>２単位</td><td>履修形態</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>履修学年</td><td colspan="2">高校１年</td><td>コース</td><td colspan="3">ICT 科・普通科</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="3">帝国書院</td><td>副教材</td><td colspan="2">地図・ワーク</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単　元</td><td colspan="3">目　　標</td><td>教　材</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1
学
期</td><td>地図や地理情報システムと現代社会</td><td colspan="3">地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">世界を構成する国家の領域の定め方や，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2
学
期</td><td>世界のさまざまな地域</td><td colspan="3">世界の諸地域（アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州）について学習する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">世界の諸地域（北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州）について学習する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
<tr><td>3
学
期</td><td>地球規模的な課題</td><td colspan="3">世界から見た日本の姿について学習する。
日本の自然環境・人口・資源とエネルギー・世界との結びつきについて学習する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
</table>

令和８年度　　教科　社会科　　科目　公共

<table>
<tr><td>授業科目</td><td>公共</td><td>単位数</td><td>２単位</td><td>履修形態</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>履修学年</td><td colspan="5">高校２年 ICT 科、高校１年普通科</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="2">帝国書院　公共</td><td>副教材</td><td colspan="2">帝国書院　公共ノート</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="5">一年間を通じて、現在、世界・日本の中で起こっている様々な課題を理解し、持続化 能な社会のために自分には何が出来るのかを考察させる。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単元</td><td colspan="2">目標</td><td>教材</td></tr>
<tr><td>1
学
期</td><td>第１部
１章</td><td colspan="2">青年期における自己と社会のあり方の理解に基づき，社会に参画する自立した主体としてのあり方・生き方について自分の意見を表現することを通じて社会形成とそれに結び付く，みずからのキャリア形成ついて理解させる。</td><td>教科書
副教材</td></tr>
<tr><td>1
学
期</td><td>第１部
２章</td><td colspan="2">私たちが生きる社会を形成する伝統や文化，宗教，古来の日本人の考え方などへの理解に基づき，私たちはお互いの立場を理解し合う社会的な存在であることについて自分の意見を表現することを通じてみずからの価値観や他者の価値観，それらを形成する背景や要因ついて理解させる。</td><td>教科書
副教材</td></tr>
<tr><td>2
学
期</td><td>第１部
３章</td><td colspan="2">公共的な空間における基本原理としての日本国憲法の考え方の理解に基づき，個人と社会の関係等について自分の意見を表現することを通じて，人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ，公共的な空間に生じる課題を探究することの大切さ等について理解させる。</td><td>教科書
副教材</td></tr>
</table>

	2 学 期	第2部 1章	法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき，身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し，みずからの意見や主張を表現することを通じて，法の意義や司法参加について関心を高めさせる。	教科書 副教材
	2 学 期	第2部 2章	さまざまな意見や利害を調整するという政治の意義や統治機構のしくみの正確な理解に基づき，よりよい社会を構成するための取り組みについて，自分の意見を表現することを通じて，政治参加と公正な世論の形成，地方自治等について理解させる。	教科書 副教材
	2 学 期	第2部 3章 1節	希少な資源を効率的に配分する市場メカニズムに対する正確な理解に基づき，公正かつ自由な経済活動が行われる社会を構成するための取り組みについて自分の意見を表現することを通じて，市場経済の機能と限界，金融の動き，財政および租税の役割について理解させる。	教科書 副教材
	3 学 期	第2部 3章 2節	変化する産業構造と労働のあり方，社会保障の意義と課題に対する正確な理解に基づき，国民福祉の向上に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について理解させる。	教科書 副教材
	3 学 期	第2部 3章 3節	グローバル化の進展により経済活動が世界的な規模で 行われていることに対する正確な理解に基づき，貧困や 格差のないよりよい国際社会の形成に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて，経済のグ ローバル化と相互依存の深まり，国際社会のおける貧困 や格差の問題などについて理解させる。	教科書 副教材

教科…数学、科目…数学Ⅰ

授業科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	１年普通科	コース			
教科書	NEXT 数学Ⅰ(数研出版)		副教材	CONNECT 数学Ⅰ+A(数研出版)	
授業概要	数学Ⅰでは，中学校数学で扱った内容を発展させたものとして，① 数と式，②集合と論証，③二次関数，④ 図形と計量, ⑤ データの分析の５分野を扱います。 高等学校数学における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学的な見方や考え方といった数学的素養を身に着けるようにします。				

授業内容および到達目標		単　　元	目　　標	教　材
	一学期	数と式	（1）式の展開や因数分解の公式の理解を深める （2）数を分類・整理し，数の体系を身に着ける （3）根号を含む四則演算ができるようにする （4）不等式の解の意味と性質を理解する	教科書 問題集
		集合と論証	（1）集合の表し方と要素について理解する （2）部分集合，共通部分と和集合を理解する （3）補集合とド・モルガンの法則を理解する （4）命題と論証について理解する	
	二学期	2 次関数	（1）2 次関数の式とグラフの形の関係を理解する （2）2 次関数のグラフと 2 次方程式の関係を理解する （3）2 次不等式の意味を考え，解けるようにする	
		図形と計量	（1）正弦, 余弦及び正接を直角三角形の辺の比と角の大きさとの間の関係として理解する （2）0°～180°の場合までの三角比の値を求められる （3）三角比についての相互の関係を理解する （4）正弦定理, 余弦定理を利用し，三角形の未知の辺や角の大きさを求められる （5）三角比を利用して三角形の面積を求められる	
	三学期	データの分析	（1）データの整理と相対度数による計算ができる （2）平均値・中央値・最頻値の意味を理解する （3）四分位数，箱ひげ図とヒストグラムの対応ができる （4）データ分析の基本を理解する （5）相関関係が調べられる	

令和８年度　年間学習計画

科目名［数学Ａ（２単位）］　　担当学級［高校１年Ｉ組（普通科）］　　担当者［谷下智浩］　　印

使用テキスト［ＮＥＸＴ数学Ａ 改訂版（数研出版）］
使用問題集　［ＣＯＮＮＥＣＴ数学Ｉ＋Ａ 改訂版（数研出版），練習ドリル数学Ａ（標準）（数研出版）］

月	時間	単元	配当時間	指導の要点	備考
		第１章 場合の数と確率			
4	3	準備　集合	2	共通部分や和集合，補集合や部分集合などの概念を知る	
5	4	１．　集合の要素の個数	1	要素の個数の求め方を集合と関連させて知る	
		２．　場合の数	2	樹形図と個数を求めるときの和の法則と積の法則を知る	
		３．　順列	3	${}_nP_r$ の使い方と円順列，重複順列の求め方を知る	
		［中間試験］			
6	7	４．　組合せ	3	${}_nC_r$ の様々な使い方を知る	
		５．　事象と確率	1	確率の意味と基本的な求め方を知る	
		６．　確率の基本性質	2	和事象や余事象における確率の求め方を知る	
7	2	７．　独立な試行と確率	3	独立の意味を知り、反復試行の確率の求め方を知る	
		［期末試験］			
9	6	８．　条件付き確率	2	条件付き確率の意味を知り、乗法定理を用いて確率を求める	
		９．　期待値	1	期待値の計算方法を知り、その意味を考える	
		第２章 図形の性質			
		１．　三角形の角の二等分線と辺の比	1	角の二等分線定理とその使い方を知る	
10	2	２．　三角形の外心・内心・重心	3	外心・内心・重心の性質と長さや角度の計算	
		［中間試験］			
10	4	３．　チェバの定理・メネラウスの定理	3	定理を用いて辺の比を求める	
		４．　円に内接する四角形	2	円周角の定理と内接四角形の性質から角度を求める	
11	6	５．　円と直線	2	接線の性質と接弦定理，方べきの定理の活用	
		６．　２つの円	1	２つの円の位置関係と共通接線について知る	７．［作図］は省略
		８．　直線と平面	1	空間における直線と平面の位置関係について知る	８，９は簡単な説明のみ
		９．　多面体		正多面体の種類とオイラーの多面体定理について知る	
		［期末試験］			
		第３章 数学と人間の活動			
11	1	１．　約数と倍数	1	倍数の判定方法を知る	
12	4	２．　素数と素因数分解	1	素因数分解を用いて約数の個数を求める	
		３．　最大公約数・最小公倍数	1	最大公約数・最小公倍数の活用法を知る	
		４．　整数の割り算	2	余りの性質を知る	４．と研究，発展は一体のものとして扱う。
1	6	研究　和，差，積の余り	1	記号 ***mod*** の意味とその活用	
		発展　合同式	1		
		５．　ユークリッドの互除法	1	互除法を用いて大きな数の最大公約数を求める	
2	3	６．　１次不定方程式	3	整数解を文字 k などを用いて一般解として表す	
		７．　n 進法	2	n 進数を10進数で表したり、逆の操作も行う。	
		補足　等式を満たす x, y の値	1	因数分解を用いて積の形から整数解を求める。	
		［学年末試験］			
2	2	［問題演習］		授業で扱わなかった問題を問題集から拾って演習	８．［整数の性質と人間の活動］
3	0				９．［座標の考え方］
					10．［ゲーム・パズルの中の数学］は扱わない

宿題について‥‥問題集の指定した問題を次回までにレポート用紙またはルーズリーフにやる。
次回の授業前に提出。

定期試験について‥‥記述式での出題。
①知識・技能については、用語，記号の確認と基本的活用を見る問題
②思考力・判断力・表現力については、応用力を見る問題
③主体的な態度については、簡単な作問を問う問題やテストに向けた取り組みの感想や反省などを書かせる問題

教　科　　理科　　科　目　化学基礎

授業科目	化学基礎	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	1 年	コース	普通科		
教科書	実教出版　化学基礎		副教材	第一学習社　新課程版プログレス化学基礎	
授業概要	身の回りに存在する「もの」がどのようにしてできているか、物質の成り立ちやその性質について学習します。また、さまざまな物質と物質の反応について、日常生活との関連も意識しながら学習します。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	物質の探究 物質の構成粒子 物質と化学反応	物質の成り立ちについて実験や観察を通して理解する。物質を構成する原子をはじめとする基本粒子について理解する。 身の回りの物質に含まれる粒子がどのように理解しているかを理解する。	周期表 原子 イオン結合 金属結合 共有結合
	2学期	物質量と化学変化	原子の分子を集団として扱う「物質量 mol」の考え方を理解する。 化学反応の量的関係について理解する。	原子　分子 物質量 mol 化学反応式
	3学期	酸と塩基 酸化と還元	酸や塩基の性質や中和反応とその量的関係について理解する。酸化還元反応を電子の授受に基づいて理解する。電池や電気分解について理解する。	酸　塩基 酸化　還元 電池 電気分解

教　科　　理　科　　科　目　地学基礎

授業科目	地学基礎	単位数	2　単位	履修形態	必修・　選択
履修学年	高　校　1　年	コース	普通科		
教科書	実教出版　　地学基礎		副教材	ビジュアルプラス 地学基礎ノート	
授業概要	中学校で学習した「大地の変化」「気象のしくみと天気の変化」「地球と宇宙」の内容をさらに詳しく学習します。広大な宇宙に存在する、我々が住む地球に起こる様々な環境やそのしくみなどを学びます。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	一学期	１章 地球の構成と運動	私たちが生活する地球について、内部の状態や構成物質を解説したり、活発に活動している地球の様子について学びます。	ビデオ、 インターネット、 プリント
		２章 大気と海洋	地球を取り巻く大気と海洋が循環したり、エネルギーのやりとりをすることで地球の環境が一定に保たれていることを学びます。	ビデオ、 インターネット、 プリント
	二学期	３章 宇宙、太陽系と地球の誕生	ビッグバンに始まる宇宙の歴史や、地球が誕生し、生命が存在するようになるまでの過程を学びます。	ビデオ、 インターネット、 プリント
		４章 古生物の変遷と地球環境の変化	地球の歴史を知るための方法として、地層や化石を調べ、どのように地層ができたのか、また、化石からどのようなことが読み取れるのかを学びます。	ビデオ、 インターネット、 プリント
	三学期	５章 地球の環境	１～４章までの学習を踏まえ、自然災害や環境問題について学びます。	ビデオ、 インターネット、 プリント

教　科　保健体育　　科　目　保健

授業科目	保健	単位数	１単位	履修形態	○必修・選択
履修学年	高校１年	コース	普通・ICT　全コース		
教科書	最新高等保健体育（大修館書店）		副教材	最新高等保健体育ノート（大修館書店）	
授業概要	今日私達が暮らす社会はとても豊かである。それでも生活習慣病や薬物、また心の問題など健康に関わる問題は少なくない。さらに時代の流れの中で健康自体の捉え方や健康の為に、人や社会に望む事も変化している。そこで健康のあり方等を学習させたい。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	１学期	現代社会と健康	我国における健康水準・問題を理解させ、健康の成り立ち・保持増進について考えさせる。	健康の捉え方・考え方 ＰＣ使用
			各国の水準調査	
			我国や世界の健康の為の活動を知る。	保持増進と疾病異常
			生活習慣と関連の深い病気を知る。	
	２学期	現代社会と健康	喫煙・飲酒・薬物乱用・医薬品と健康について理解させる。	
			感染症・ＡＩＤＳについて理解させ、その予防対策を知る。	
			心と身体の関わりを知る。	精神の発達
			欲求不満と適応機制について理解させる。	
			自己実現のあり方を知る。	
	３学期	現代社会と健康	交通事故の現状と要因について知る。	交通安全
			交通社会における運転者の資質と責任を理解させる。保険等の調査ＰＣ使用	
			安全な交通社会づくりを知る。	
			応急手当の意義と手当の手順を知る。	応急手当 心肺蘇生法
			心肺蘇生法の理解と実習。	

教　科　保健体育　　科　目　体育

授業科目	体育	単位数	２単位	履修形態	○必修　・　選択
履修学年	高校１年	コース	普通科		
教科書	なし		副教材	アクティブスポーツ　大修館書店	
授業概要	運動を通して、集団の中で他人への思いやりの心を養うことと、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。	
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の状態に気づくことが出来るようにする。	
		新体力テスト	持久走を含む８種目　Ａランクを目標	
		水泳	水の特性を理解し、自由形・平泳ぎ・背泳ぎの３泳法をマスターする。	
		バスケットボール	ネット型の特性を理解し、ドリブル、シュート、パスの正しい技術を身につける。	
	2学期	ダンス	表現したい内容が伝わるような動きを工夫したり、呼吸を合わせたり、めりはりをつけて踊ることができるようにする。	
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。接転系の技を正しい姿勢でできるようにする。	
		体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。	
		新体力テスト	持久走を含む８種目　Ａランクを目標	
	3学期	サッカー	ルールを理解し、パスやドリブルの正確な技術を身につける。	
		武道	武道の特性を理解させ、姿勢や組み方を中心に、安全を考えて練習する。	

教　科　外国語　　科　目　コミュニケーション英語Ⅰ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	４単位	履修形態	必修・　選択
履修学年	高校１年　普通科	コース			
教科書	ELEMENT English CommunicationⅠ		副教材	ターゲット 1200　　10 分速読ドリル 読解問題集 A　エースクラウン英和辞典	
授業概要	英文を読み、内容を理解し、表現することができる。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	中学校の復習 L1 Intercultural Relationships L2 Love beyond Species L3 Contributing to Our Planet	簡単な英文を読み、内容を理解する。 簡単な英単語を書くことができる。 簡単な英文を表現することができる。 （５文型、受動態、to 不定詞、現在完了(進行形)、分詞の限定用法、関係代名詞、使役動詞）	ELEMENT Ⅰ ターゲット 10 分速読ドリル 読解問題集 A
	2学期	L4 Message for World Peace L5 Respecting Each other L6 Language and culture	英文を読み、内容を理解することができる。 内容を理解した上で、正しく解答することができる。 英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 （過去完了形、知覚動詞、関係代名詞 what、関係副詞、関係代名詞(非限定用法)、分詞構文）	同上
	3学期	L7 Technologies and Discoveries L8 Standing Up for Human Rights	長い英文を読み、内容を理解することができる。 内容を理解した上で、正しく解答することができる。 英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。 （形式主語 It、be 動詞+that 節、仮定法、過去完了(進行形)）	同上

普通科1年　論理表現Ⅰ　シラバス

L = Lesson, P = Project

課	タイトル	主な言語材料	題材／場面	はたらき	L	R	Sや	S発	W	配当時数
L1	*OriHime*	時制	人生･生き方／スピーチ・学校生活	話しかける、例を挙げる、挨拶する、自己紹介する	○	○	○	○	○	5
L2	Breakfast Makes Perfect	助動詞	食生活と健康／プレゼンテーション・家庭生活	驚く、出典を示す、説明する、締めくくる	○	○	○	○	○	5
L3	Cool Japan	受動態	日本文化／ライティング・家庭生活	説明する、薦める、話題を導入する	○	○	○		○	5
L4	Save Our Planet	不定詞	環境問題／ディスカッション・学校生活・地域での活動	問題点を伝える､提案･勧誘する、意見を求める、意見を述べる	○	○	○	○	○	5
L5	Volunteer Work for What?	動名詞	ボランティア／ディベート・学校生活・地域での活動	相手の意図を確認する、言い直す、反論する、主張と理由を述べる	○	○	○	○	○	5
英語表現のまとめ①		動作動詞と状態動詞、自動詞と他動詞、冠詞								1
L6	Another Life I Might Have Had	分詞	文学・読書／スピーチ・本を読むこと	驚く、同意･共感する、問いかける、理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L7	What Is Our Greatest Invention?	比較	サイエンス･発明／プレゼンテーション	話題を導入する、推量する、意見を述べる、理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L8	Discover Japan	関係詞	都市･観光／ライティング･	話題を導入する、相づちを打つ、説明する	○	○	○		○	5
L9	Urban Life or Rural Life	仮定法	交通・地域／ディスカッション	対比･逆説を表す、感動を表す、意見を述べる	○	○	○	○	○	5
L10	Music Without a Pianist	接続詞	芸術・テクノロジー／ディベート	驚く、伝聞を伝える、反論する	○	○	○	○	○	5
英語表現のまとめ②		動詞、名詞、形容詞、副詞								1
P1	My Hobby: Bouldering		スピーチ	注意をひく、質問する、説明を求める、意見を述べる	○	○	○	○	○	3
P2	A Country I'd Like to Visit		プレゼンテーション	話題を導入する、例を挙げる、強調する、結論を述べる、要約する	○	○	○	○	○	3
P3	Are Zoos Necessary?		ディスカッション	発言を促す、意見を述べる、具体例を述べる、賛成する、反対する	○	○	○	○	○	3
P4	All Elementary School Stundents Should Have a Mobile Phone		ディベート	意見を述べる、理由を述べる、言い換える、否定する	○	○	○	○	○	3
P5	E-Book Readers		ライティング	列挙する、比較・対照する					○	3
英語表現のまとめ③		和製英語、くだけた表現･ていねいな表現、日常会話表現								1
付録：表現のための文法、音声スクリプト、語彙集、英語の句読法、英語表現のまとめ［解答］、索引					配当時数合計					６８

教　科　　情報　　科　目　　情報Ⅰ

授業科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	履修形態	必須 ・ 選択
履修学年	高校１年　普通科	コース			
教　科　書	情報Ⅰ		副教材		
授業概要	座学及び iPad を使用しての実習				

授業内容および到達目標		単　　元	目　　標	教　　材
	1学期	オリエンテーション	「情報Ⅰ」の学習目標とシラバスについて知る	
		私たちを取り巻く情報	メディアの意味と特徴を学ぶ。 情報の信憑性について理解する。 情報を批判的にとらえることを知る。	教科書、自作プレゼン
		法律と個人の責任 情報社会と著作権 個人情報の保護 アナログからデジタルへ インターネット	著作権について理解する。 個人情報について理解し，その保護や活用について理解する。 ネチケットやマナーを学習する。 10 進数 2 進数 16 進数について、人間の言語とＰ Ｃの言語について理解させる。 インターネット・ホームページ、メールについて学習。	教科書 自作プレゼン
	2学期	文書作成 表計算 画像処理 プレゼンテーション	ワープロソフトを利用しての文書作成対応について理解。 文字，画像，動画像，音のデジタル化の仕組み ディジタルデータの利点と，情報の統合。 写真の一部を抜き出す。 別の写真に抜き出した画像を重ね合わせる。 画像処理ソフトウェアを用いて画像加工する。 プレゼンテーションソフトウェアでスライドショーを作成する。	教科書 iPad アプリ Pages iPad アプリ Numbers iPad アプリ Keynote
		画像ムービーを作ろう	学校生活などの写真を収集する。 ビデオ編集ソフトウェアで，見せたい順に写真を配置する。 それぞれの写真にキャプションを入れる。 トランジションを設定する。 作品を発表し，評価する。	iPad アプリ iMovie iPad アプリ Clips
	3学期	プログラミング	プログラミング言語の種類を学習する。 アプリを使ってプログラミングを学習する。	iPad アプリ Swift Playgrounds

<table>
<tr><td colspan="7">探究基礎</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">探究基礎</td><td>単位数</td><td>１単位</td><td>履修形態</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>履修学年</td><td colspan="2">高校２年</td><td>コース</td><td colspan="3">普通科</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="3">中小機構起業家教育プログラム</td><td>副教材</td><td colspan="2">ワークシート</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="6">本プログラムでは、起業家精神（アントレプレナーシップ）を育成し、ビジネスアイデアの創出から事業計画の策定、発表までの一連のプロセスを体験的に学ぶことを目的とする。また、学生が主体的に考え、挑戦し、実行する力を育むとともに、実際の起業家や支援者との交流を通じて、社会で求められる力や働き方への理解を深める。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単 元</td><td colspan="3">目　標</td><td>備　考</td></tr>
<tr><td>一学期</td><td>①アントレプレナーシップの意義とビジネスの考え方を学ぶ

②自分自身や他者の課題やニーズを発見する

③ビジネスプランを考える

④ビジネスモデルの深堀りする

⑤先行事例調査を実施する

⑥プロトタイプ作成について学び、作成、フィードバックを得る

⑦特別講話、ディスカッション及びビジネスプランの作成</td><td colspan="3">・起業家精神やビジネスの基本的な考え方を理解する

・課題発見力とニーズ把握力を身につける

・ビジネスプランを構築し、具体的なビジネスモデルとして整理する力を養う

・調査・プロトタイピング・発表を通じて実践力とプレゼン力を高める

・実際の起業家や専門家の話を通して、社会の現状と自分の進路を考える視点を持つ</td><td></td></tr>
<tr><td>二学期</td><td>⑧収支計画の作成方法と資金調達について学ぶ

⑨起業家との交流

⑩ビジネスコンテストへの出場

⑪プレゼンテーションを学びビジネスプラン発表準備</td><td colspan="3">・アントレプレナーシップとビジネスの基礎的な考え方を理解する

・課題発見力・ニーズ分析力を身につける

・アイデアをビジネスモデルとして整理し、実現可能なプランを作成する力を養う

・プロトタイピングや収支計画の基本を学び、プランの実現性を高める

・ビジネスコンテストに挑戦し、社会への発信力・自己表現力を磨く

・実際の起業家や専門家と交流し、働くこと・社会の現状をリアルに学ぶ</td><td>１）日本政策金融公庫「高校生ビジネスプラン・グランプリ」

２）静岡市産学交流センター「しずおかビジネスプランコンテスト」</td></tr>
<tr><td>三学期</td><td>⑫ビジネスプラン発表会（準備）

⑬ビジネスコンテストへの出場

⑮キャリア教育論</td><td colspan="3">・ビジネスコンテスト出場を通じて、社会の現実に触れ、発表スキルを向上させる

・キャリア教育を通じて、自己分析や将来設計を行い、具体的なキャリア目標を持つ</td><td>静岡県主催「スタートアップビジネスプランコンテスト」</td></tr>
</table>